

広報

# 青葉

第18号 平成23年1月5日発行

財団法人 日本医療機能評価機構 認定病院  
医療法人 青葉会 松江青葉病院  
〒690-0015 松江市上乃木 5-1-8  
TEL : 0852 (21) 3565 FAX : 0852 (21) 0111  
Email : aoba@themis.ocn.ne.jp  
ホームページ : <http://www.matueaoba.or.jp/>

## 〔私たちの理念〕

生きがいを見出すために

## 〔基本方針〕

患者様の人権を尊重し、より良い医療を提供する。

地域に貢献できる質の高い病院を目指す。

医療知識・技術を日々研鑽する。

## ～巻頭～

### 新年によせて

新年あけましておめでとうございます。今年も松江青葉病院をどうぞよろしくお願ひいたします。

この巻頭言を書くに当たり、昨年の巻頭言を見直していました。「希望に満ちた巻頭言であったな」と我ながらに思います。さて、今年はどうでしょうか。日本人の特性なのか、私の性格によるものなのか、今の世の中をみていると、医療・福祉政策に対して全く楽天的になれずにいます(新年早々からの愚痴ですみません)。早く、日本国民全員が安心して生きていける世の中を取り戻して欲しいと思っている今日この頃です。

さて、今年には当院にとって病院機能評価の更新年に当たります。5年前は、あれよあれよという間の認定で、腰の据わった作業ができなかったとの記憶があります。今回の更新に当たっては、現在、全職員で作業を進めているところです。この一体感をもって、当院のますますの発展を目指したい2011年です。

松江青葉病院 院長 妹尾晴夫

# 演 芸 会

レクリエーション委員会 副委員長 谷口 久仁恵

## 青春を唄おう会



当院では、年末恒例の行事となっている演芸会を12月1日(水)に実施しました。今年は、二組のゲストの皆さんと各病棟・デイケア・OT室から患者様と職員が一緒になった演芸の披露がありました。

ゲストの「もみじ座」の皆様が三味線や傘踊りは、普段目の前で見られる機会の少ない患者様にはその迫りに夢中でした。また、「青春を唄おう会」の皆様によるコーラスは、心の病と闘っていらっしゃる当院患者様の心の傷にそのハーモニーが直接響き渡り、大きな癒しとなったようです。ボランティアでゲスト出演していただき演芸会を盛り上げていただいた事に感謝しています。

各病棟・デイケア・OT室からは男性職員による舞台をドンドンいわせる豪快なソーラン節踊り、リズムカルな音楽に合わせ車椅子の患者様とジャンケンをして進む車椅子ダンス、マイケルジャクソンになりきっての大勢のダンス、ハンドベルの合唱、安来節のドジョウ掬い踊り等とても楽しい演芸でした。患者様と職員が一体となり練習し、その熱い思いが良く伝わりました。又、患者様の楽しそうな表情に職員も励まされたひと時でもありました。



もみじ座



多くの患者様に  
参加して頂きました

# わくわくメニュー

管理栄養士 戸谷 錠治

10月から提供を始めた「わくわくメニュー」を紹介します。

「わくわくメニュー」はこれまで提供してきた選択メニューに変わる特別献立です。食事を楽しみにしておられる患者様にもっと満足していただきたいと言う栄養科全体の思いから始まりました。普段は栄養士が献立を立てますが「わくわくメニュー」はチーム単位（調理師5人1組のローテーション）で行います。ミーティングでは「あんなことをしたら面白い」とか「こんな物を出したらもっとよろこんでもらえるのでは？」といった意見がでます。作る側にとっても患者様を身近に感じることのできる貴重な機会になっています。

実施はまだ3回ですが患者様からの評判もよくみんな張り切っています。今後は月1回の実施回数を増やすこと、普段提供することが難しいメニューに挑戦することを目標に頑張っていきたいと思っています。



# こころの健康

精神科認定看護師 森山 香澄

前は、「ストレス」と「ストレス状態に気付くことの大切さ」についてお話ししました。ストレスを“ゼロにする”ことはできないと言っても良いでしょう。では、どうすればよいのか・・・？

**適度なストレス**は自分自身を成長させると言われます。しかし、**強すぎたり、長引きすぎるストレス**は、時に、**こころの病気をまねく**ことがあります。皆様も良く耳にされるうつ病。日本人の10～15人にひとりは一生涯のうちを経験すると言われている 特にストレスと関係の強いこころの病気のひとつです。



私は、この広報以外にも、多くの精神科看護の専門家が所属している特例社団法人 日本精神科看護技術協会の事業のひとつの「こころの健康出前講座」を通し、皆様の地域へ出向き“こころの健康”“ストレスとの上手な付き合い方”“こころの病気の理解と対応”などに関するお話をお届けさせていただいております。参加された方の多くから、聞いてよかったとの感想をいただくことから、こころの健康への関心の高さと、出前講座の意義を実感します。これらの活動を継続することで、皆様のこころの豊かさに寄与できるよう努めてまいります。

寒い日が続きます。しかし、からだの健康だけでなく、ぜひともこころの健康にも気を配り、新年をお過ごしくださいね。



## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年の干支は兔です。私は年男ですので今年一年は飛躍の年にしたいと思っております。今年も広報青葉をどうぞよろしく申し上げます。  
K.T



※ 写真は本人の同意を得て掲載させていただいております。

第18号 編集担当：作業療法科